

履修の留意事項(カリキュラム体系の概要)

現代マネジメント学部の科目は、大きくは教養教育科目と専門教育科目に分かれ、それぞれは以下で説明するような科目から構成されています。その目的は、学部の教育目標である「基礎学力、地域社会とマネジメントに関する基礎的・体系的な知識・技術、社会人基礎力を統合的に身につける」ためです。

1. 教養教育科目について

教養教育科目は、基礎演習、スポーツと健康科学、基本スキル、基礎教養科目、語学といった5つの科目区分から構成されています。卒業要件を満たすには、全体で48単位以上修得する必要があります。

(1) 基礎演習

大学教育への導入あるいはガイダンス科目として「基礎演習」が位置付けられています。担当教員が、小人数を対象にして大学生活へのスムーズな移行ができるように指導します。「基礎演習」は、1・2とも必修科目です。

(2) スポーツと健康科学

現代社会で健康的に生活していけるように、スポーツに親しむとともに、健全な体力と精神を涵養するために、「スポーツと健康科学」、「体育実技」を開講しています。すべて必修科目です。

(3) 基本スキル

現代マネジメント学部で学んでいくために必要なリテラシーの基本科目として「コンピュータ基礎」、「問題解決基礎」を開講しています。また、「キャリア設計」は、働くことの価値を考え、自分自身の将来を描いていくための科目です。「コンピュータ基礎3」を除いたすべてが必修科目です。

(4) 基礎教養科目

現代社会が直面する基本的な諸課題に関する総合的な判断力を身につけるとともに、歴史や伝統・文化に関する理解を深めるために教養科目が設定されています。人文科学系の科目、社会科学系の科目、自然科学系の科目に分かれています。ここでは、すべて選択科目ですが、14単位以上修得しなければなりません。

(5) 語学

語学には、英語、中国語、ハングル、日本語の科目があります。英語、中国語には、文章読解、文章作成力の向上を目指す科目と会話力の向上を目指す科目があります。ハングルは、会話力向上の科目だけを開講しています。卒業要件を満たすには、「英語」か「中国語」で4単位、「英会話」か「中国語会話」か「ハングル」で2単位、合計6単位修得する必要があります。ただし留学生は、日本語能力を向上させるための日本語が必修科目として開講されており、日本語だけで6単位を修得しなければなりません。

2. 専門教育科目と資格に関する科目について

専門教育科目は、専門基幹科目と専門応用科目から構成されています。また、卒業要件単位には含まれませんが、資格関連科目を開講しています。

(1) 専門基幹科目

地域社会とマネジメントに関する知識・技術を学ぶための基幹的な科目です。その中でも、必修科目は、現代マネジメント学部における基本的な思考様式、学問の基盤を理解する科目となっています。「現代マネジメント実習」や「マネジメントシミュレーション」は、課題を発見・解決する能力を習得するための実習・演習の科目です。すべての必修科目の単位を修得し、各科目区分で必要な単位数を満たした上で、全体として30単位以上修得しなければなりません。

(2) 専門応用科目

専門応用科目は、経済学・経営学領域、社会学・社会福祉学領域、専門演習・実習から構成されています。ここでは、全体で46単位以上修得する必要があります。

① 経済学・経営学領域

この領域の科目は、「財政学」から「販売管理特講」の科目と、「ビジネスデータ分析」から「会社法」の科目に分かれます。前者の科目は、経済学・経営学のさまざまな分野における科目と、資格取得を支援する科目に分かれています。後者の科目は、いわゆる情報に関連する科目、また法律に関連する科目です。卒業要件を満たすには、「マーケティング論」と「簿記1」の単位を修得した上で（いずれも必修科目）、前者から10単位以上、後者から6単位以上修得しなければなりません。

② 社会学・社会福祉学領域

この領域の科目は、「現代人権論」から「地方自治法」の科目と、「社会福祉論」から「レクリエーション技術演習」の科目に分かれます。前者の科目は、社会学のさまざまな分野における科目です。後者の科目は、主に社会福祉学に関連する科目、またボランティアやレクリエーションに関する演習・実習の科目です。卒業要件を満たすには、「まちづくり論」と「行政法」の単位を修得した上で（いずれも必修科目）、前者から10単位以上、後者から6単位以上修得しなければなりません。

③ 専門演習・実習

教員の専門性を核にして、少人数を対象にした教育を行う「プレゼミナール」、「専門ゼミナール」があります。ゼミナールの成果をまとめ、発展させるために、4年生では「卒業研究」があります。また、「インターンシップ」は就業体験を行う産官学協同のプログラムです。

「プレゼミナール1」から「卒業研究2」までのゼミ科目（8単位）が必修科目です。

(3) 資格に関する科目

さまざまな資格の取得を支援するために、資格関連の科目を配当しています。ただし、これらの科目は、卒業要件の単位には含まれません。詳細は、「I 学習ガイド」の「資格」のページを参照してください。